

令和3年度 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会

～新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、関係機関とWEB会議を実施～

【開催目的】
 大規模氾濫による災害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進するため、「静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会」を開催しました。
 新たに鉄道事業者（遠州鉄道株式会社、天竜浜名湖鉄道株式会社）が参画して、関係機関が連携して取組むべき事項について協議し、各構成員が実施している減災に係る取組状況や取組予定を共有しました。令和3年度は、**新型コロナウイルス感染拡大防止措置を図るため、静岡県西部の国、県、市町(対象20機関)とWEB会議による会議を実施し、情報共有を図りました。**

【開催概要】
 日 時:令和3年5月26日(水) 13:30～15:00
 会 場:WEB会議
 参加機関:下記参照
 議事次第: 1. 開 会(浜松河川国道事務所 所長)
 2. 規約改正(案)
 3. 鉄道事業者参入について(紹介)
 4. 取組の進捗と効果について
 5. 菊川下内田地区河川防災ステーションについて
 6. その他
 7. 閉 会(浜松土木事務所 所長)

■配布資料
 出席者名簿
 資料1: 協議会規約(改正案)
 資料2: 取組状況の進捗結果(フォローアップ調査結果)
 資料3: 進捗及び課題の説明資料
 資料4: 菊川下内田河川防災ステーションの開所式
 資料5-1: 避難勧告の廃止
 資料5-2: 流域治水プロジェクト(パンフレット)

WEB会議映像



令和3年5月26日WEB会議状況

浜松市 危機管理監	磐田市長	掛川市長	袋井市長	湖西市 危機管理監	菊川市長	御前崎市長	森町長
静岡県 危機管理部 危機管理監代理	静岡県 経営管理部 西部地域局 副局長兼 西部危機管理監	静岡県 健康福祉部 政策管理局長	静岡県 交通基盤部 河川砂防局長	静岡県 浜松土木事務所長	静岡県 袋井土木事務所長	気象庁 静岡地方気象台長	浜松河川国道 事務所長
				参加機関:20機関 自治体関係:浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町 静岡県関係:危機管理部、経営管理部西部地域局、健康福祉部政策管理局、 交通基盤部河川砂防局、浜松土木事務所、袋井土木事務所 国関係 :浜松河川国道事務所、中部運輸局(オブザーバー) 関係団体 :気象庁静岡地方気象台、電源開発株式会社中部支店、 遠州鉄道株式会社、天竜浜名湖鉄道株式会社			
電源開発株式会社 中部支店長代理	遠州鉄道株式会社 工務区長	天竜浜名湖鉄道 株式会社 常務取締役	中部運輸局 鉄道部 安全指導課長 (オブザーバー)				

《議事概要》

1. 協議会規約(改正案)について

- ・【事務局】協議会規約の改正案について説明した。
- ・【構成員】異議なし。

2. 鉄道事業者参入について(紹介)

- ・【事務局】新たに協議会に参画した鉄道事業者(遠州鉄道、天竜浜名湖鉄道)の紹介を行った。
- <質疑> 特になし。

3. 取組の進捗と効果について

- ・【事務局】各構成員の令和2年度末時点の取組の進捗状況について説明した。
- <質疑> 特になし。
- ・【構成員】令和2年度時点での取組内容や取組による効果について説明した。
- <質疑> 特になし。

4. 菊川下内田地区河川防災ステーションについて

- ・【事務局】菊川市下内田地区河川防災ステーションが開所したことについて共有した。
- <質疑> 特になし。

5. 避難勧告の廃止について

- ・【事務局】令和3年5月20日から避難勧告が廃止されたことについて説明した。
- <質疑> 特になし。

6. 流域治水プロジェクトについて

- ・【事務局】天竜川下流および菊川の流域治水プロジェクトを策定したことについて共有した。
- <質疑> 特になし。

7. その他

- ・【浜松河川国道事務所長】

- ①流域治水プロジェクトでは、住民も含めて、あらゆる関係者の参画が重要となる。住民とのコミュニケーションの取り方について、県や市町村と連携して考えていきたい。
- ②取組には熟度の差があると考えられる。取組に迷いがある場合には、他機関から好事例を紹介していただくなどして、本協議会を学びの場として活用していただきたい。
- ③他の地域において、市町村内の避難所不足による問題が生じている。このような問題に対しては、広域的に市町村が連携して備えておくことが重要である。静岡県西部・中東遠地域においても、広域的な避難計画に関する議論を始めていきたい。

<質疑>

掛川市長 : 今後小中学校の統合が進んでいく中で、広域避難所をどのように確保していくかについて協議していきたい。

磐田市長 : 磐田市も浸水域に多くの避難所や人口を抱えているため、広域避難については是非協議していきたい。

- ・【事務局】今後、本協議会で広域避難計画について協議していくことで問題ないか。
- ・【構成員】異議なし。